



○災害土木費の地方割當案をさる

内務省土木局では本年度に於ける風水害被害の地域の廣汎なると程度の大なるに深慮する所があつて過般來坂田内村富樫三技師等 行を京都に近藤藏重兩技師等一行を兵庫に萩原伊藤兩技師等一行を福井岐阜に高橋安藝兩技師等一行を青森廣島に宮本原田兩技師等一行を秋田大阪和歌山に河口大石兩技師等一行を奈良三重に岩澤未松兩技師等一行を岡山に富永島野赤木三技師等一行を福島長野に砂治池本兩技師等一行を香川徳島に永田小野兩技師等一行を愛媛高知に小野鈴木兩技師等一行を鳥取に村野加藤兩技師等

一行を福岡大分宮崎に青木技師一行を山形岩手に菊池技師一行を島根山口に山下小澤兩技師等一行を山梨静岡に派遣し實地について精査せしむる所があつた。出張員は日夜不休の調査を遂げ歸省したるを以て關係府縣からの災害土木復舊工事費要求に對し審議を遂げ局に於ては大體左の如く決定したるので近く省議に付し補助率其他の事項を決定し政府に要求することとなつた模様である。

▲昭和九年度國庫補助災害土木費調

| 府縣 | 縣工事   | 町村工事 | 計     |
|----|-------|------|-------|
| 青森 | 一、〇八九 | —    | 一、〇八九 |
| 岩手 | 九二六   | 五二二  | 一、四三九 |
| 秋田 | 一、四七五 | 三六四  | 一、八三九 |
| 山形 | 六一七   | 一九八  | 八一六   |
| 福島 | 一、三〇一 | 一七五  | 一、四七六 |
| 新潟 | 二、三六九 | 三八〇  | 二、七五〇 |
| 富山 | 三、二二七 | 三〇〇  | 三、五二八 |
| 石川 | 二、〇六九 | 一六九  | 二、二三六 |
| 福井 | 一、〇五三 | 四七   | 一、一〇〇 |

|     |       |       |        |
|-----|-------|-------|--------|
| 山梨  | 二五九   | 七九    | 三三八    |
| 長野  | 四、〇六七 | 七二六   | 四、七九三  |
| 岐阜  | 七六四   | 一四六   | 九一〇    |
| 静岡  | 七二五   | 一二八   | 八五四    |
| 三重  | 九四二   | 一一二   | 一、〇五四  |
| 京都  | 一、八六五 | 八二一   | 二、六八六  |
| 大阪  | 一、〇二九 | 一、〇九九 | 二、一二九  |
| 兵庫  | 六、四八四 | 三、一八  | 九、六〇三  |
| 奈良  | 四九〇   | 九九    | 五八九    |
| 和歌山 | 七二八   | 八六    | 八一四    |
| 鳥取  | 八、二七一 | 二、六〇二 | 一〇、八七三 |
| 島根  | 二、六一一 | 四五五   | 三、〇六六  |
| 岡山  | 九、二二五 | 三、二八四 | 一二、五〇九 |
| 廣島  | 五五一   | 一六〇   | 七一     |
| 山口  | 五二九   | 七六    | 六〇六    |
| 徳島  | 一、三三八 | 四三九   | 一、七七七  |
| 香川  | 三八三   | 四一〇   | 七九四    |
| 愛媛  | 六一五   | 一四五   | 七六〇    |
| 高知  | 二七一   | 二七〇   | 五四二    |
| 福岡  | 九六六   | 一一一   | 一、〇七七  |

報

|    |        |        |        |
|----|--------|--------|--------|
| 長崎 | 二一三    | 一八二    | 三九六    |
| 大分 | 六八二    | 一六八    | 八五〇    |
| 宮崎 | 四三七    | 八四     | 五二一    |
| 沖繩 | 一〇一    | 四一七    | 五一九    |
| 計  | 五七、六八九 | 一七、三七一 | 七五、〇六〇 |

◎土木學會の記念大會

財團法人土木學會では創立二十年を記念せんか爲め十月二十六日から日間記念大會を開催することとなつた、其第一日は祝賀會で第二日第三日は講演會及見學會である、土木界の有力家を以て組織する同會の事なれば頗る盛會を告げ參會者を益する所か多大であつた。(一〇、二〇記)

◎内務省官吏の凶作地方への同情

凶作地方の窮乏情態に對しては後藤内務大臣、初め丹羽次官其の他高等官達は非常に同情し其俸給の幾分を贖出して恤救費に充つることゝしたので屬官に至るまで之に賛同することゝなつたとのことである寔に近來の美舉である。